

# ハンドジェスチャーで制御するシンセ演奏システムの制作

福知山公立大学情報学部 32245020 小野寺輝人  
指導教員 橋田光代

## 1 はじめに

- 以下のフォーマットを守ってください。
- A4 縦置き, 2段組, 1ページ
  - 余白等の設定はこのファイルから変更しないこと(余白 20mm, 段の幅 23 字)。
  - ヘッダとフッタ, ページ番号はなし。
  - 和文部分は明朝体(見出しありゴシック体), 欧文部分はローマン体(見出しありサンセリフ)とすること。
  - タイトルは 14pt, それ以外は 10pt とすること。
  - 学部, 学籍番号, 氏名, 指導教員名を明記すること。
  - 参考文献は著者, タイトル, 雑誌, 号, ページ, 年, の順を基本とする。
  - 図や表を用いてもよいが, はみ出ないように。
  - 提出は PDF で行うこと。

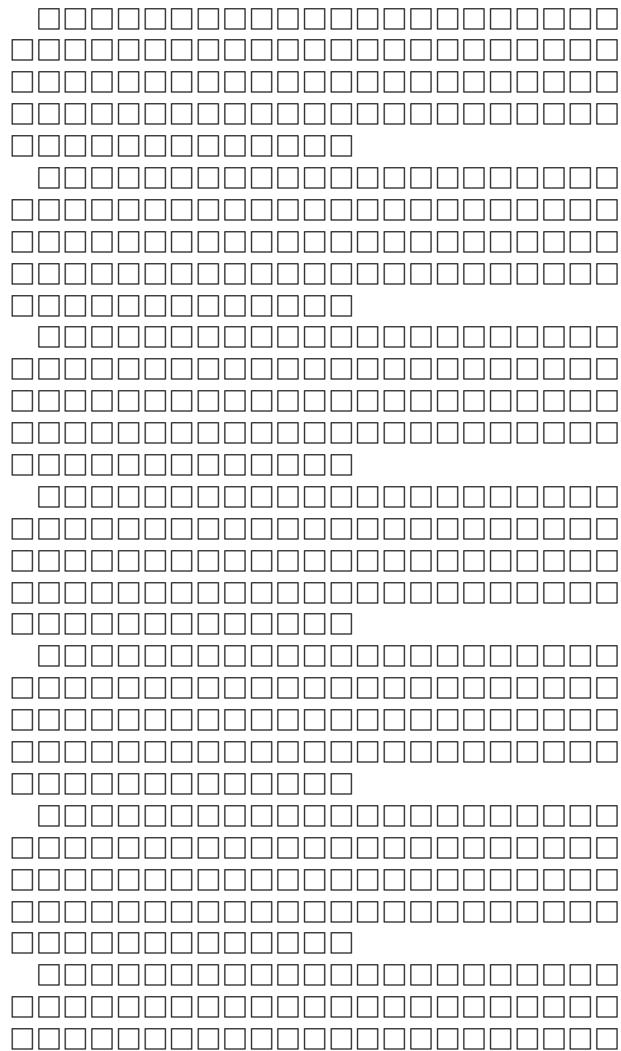
asdf

## 2 節

こんな文献でもはさんでみようか [1] ?

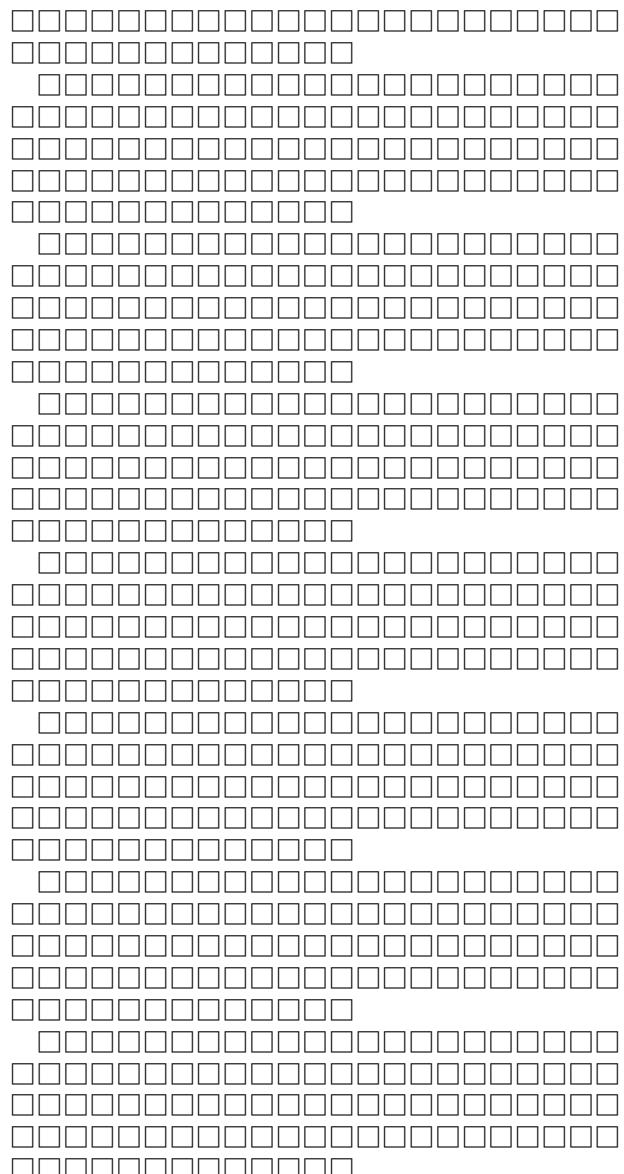
### 2.1 小節

図 1 はどうかな? もういちど図 1 を見てみよう。



	箇条(手稿)に書く場所	詳細に記述する場所
1)	当該分野における背景 その文献での本研究の位置付け 要旨 ※本文で文献が多いなら 要旨と第1章「はじめに」	第1章「はじめに」 ※本文で文献が多いなら 第2章「前提知識」か「問題研究」
	それを研究する意義・必要性など 要旨	第1章「はじめに」
2)	研究が目指すところ(目標) 達成したいこと(目的) 要旨 ※本文で文献が多いなら 要旨と第1章「はじめに」	第1章「はじめに」
	目的達成のために考えておくべきこと(課題) 自分から実験実施すること(計画と手段) 要旨 ※本文で文献が多いなら 要旨と第1章「はじめに」	第2章以降(概ね第3章から) ※各章に応じて複数の章に分ける ※各章に応じて複数の章に分ける
	本題に入る前に読者に理解しておいてほしいこと(手筋) 要旨	特になし
3)	その手段で得られた「結果」 結果から著者が判断・解釈したこと(考察) 要旨 ※本文で文献が多いなら 要旨と第1章「はじめに」	第4章あたり~ 最終章「まとめ/結論」 (省略可) 最終章「まとめ/結論」 (省略可)
	当時の目的がどのように達成されたか(結論) 要旨	最終章「まとめ/結論」

図 1 図の例



## 参考文献

- [1] 白井 晓彦: 卒論が 1 ミリも進まない  
4 年生におくる TeX 卒論サンプル,  
<http://aki.shirai.as/2013/01/tex-sample/> (2013).